



(法第28条第1項関係様式例)

令和4年度事業報告書

令和4年法人設立日（4月21日）から令和5年3月31日まで

NPO 法人テクたまご

1 事業の成果

令和4年度は法人設立年度のため、計画法定活動基盤の確立を目指し体制づくりに注力し、関連した活動を概ね実施できた。

盲学校向け教材の開発事業では、技術班・教育班の必要人数を確保して会議を開き、ニーズ調査および現在の要望を基に次年度の開発計画を立てた。

教材の寄贈・配布等の普及事業は、初年度は全面実施とはせず、法人設立の広報と関係機関との連携づくりを進めた。熊本県視覚サポートネットワーク「みるくまネット」会議への2度の出席で行政・関係団体との関係を構築し、さらには全国の盲学校全校への案内送付、全国機関紙「月刊視覚障害」への寄稿、NHKラジオ「視覚障害ナビ・ラジオ」への出演など、全国の視覚障がい福祉関係者に周知する機会を得た。

視覚障がい者への理解増進を図る社会教育事業としては、熊本市内で2度、一般向けに「視覚障がいを知ろう」講演会を実施した。

また、財務基盤の確立のため助成金・報奨金などを申請した結果、助成採択2件、受賞1件につながった他、寄附金などを受けることもできた結果、令和5年度の活動資金の目途がつくに至った。

これらの活動展開を通じ、全国各地からの会員参加、技術・教育各班の必要人数の確保、また法人設立の知らせの全国浸透は概ね実現できた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出 額 (千円)
盲学校 向け教 材の開 発事業	技術班開発会議	11/23	オンライン	1	技術経験者 5	0
	教育班説明会	10/2, 10/24	オンライン	2	教員経験者 3	0
	調査・案内配布	2/24	視障教 実研会	2	参加者 120	0
教材の 寄贈・ 配布等 の普及 事業	設立初年度のため実施しなかった。					

視覚障 がい者 への理 解増進 を図る 社会教 育事業	視覚障がいを知る講演 会	10/1 2/17	大江公 民館	10	一般 52 人	36
---	-----------------	--------------	-----------	----	---------	----

令和4年度 活動計算書

令和4年4月21日から令和5年3月31日まで

(法人名: NPO法人テクたまご)

科目	金 額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	70,000		
賛助会員受取会費	25,000	95,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	890,000		
施設等受入評価益		890,000	
3 受取助成金等			
受取民間助成金	4,300,000	4,300,000	
4 事業収益			
盲学校向け教材の開発事業収益			
教材の寄贈・配布等の普及事業収益			
視覚障がい理解増進への社会教育事業収益	0	0	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収益	10,000	10,000	
経常収益計			5,295,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
臨時雇賃金			
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費			
通信運搬費			
印刷製本費	9,130		
消耗品費			
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費	5,700		
諸謝金	21,032		
その他経費計	35,862		
事業費計		35,862	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬			
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費			
通信運搬費	20,900		
印刷製本費	21,692		
消耗品費	1,728		
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費			
雑費			
その他経費計	44,320		
管理費計		44,320	
経常費用計			80,182
当期経常増減額			5,214,818
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			5,214,818
設立時正味財産額			0
次期繰越正味財産額			5,214,818

令和4年度 貸借対照表
令和5年 3月 31日現在

法人名(NPO法人 テクたまご)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金	49,496		
普通預金	865,322		
未収入金	4,305,000		
流動資産合計		5,219,818	
2固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,219,818
II 負債の部			
1流動負債			
前受金	5,000		
流動負債合計		5,000	
2固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,000
III 正味財産の部			
設立時正味財産		0	
当期正味財産増減額		5,214,818	
正味財産合計			5,214,818
負債及び正味財産合計			5,219,818

計算書類の注記

法人名：NPO法人テクたまご

1. 重要な会計方針

≒1 計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (3) 引当金の計上基準
該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし
- (5) ボランティアによる役務の提供
該当なし
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	盲学校向け教材の 開発事業費	教材の寄贈・配布等の普及 事業費	視覚障がい者への理解増 進を 図る社会教育事業費	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0			0	95,000	95,000
2. 受取寄附金	0			0	890,000	890,000
3. 受取助成金等	0			0	4,300,000	4,300,000
4. 事業収益	0			0	0	0
5. その他収益	0			0	10,000	10,000
経常収益計	0	0	0	0	5,295,000	5,295,000
II 経常費用						
(1) 人件費						0
給料手当						0
臨時雇賃金						0
法定福利費						0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						0
旅費交通費				0	20,900	20,900
通信運搬費				0	21,692	21,692
印刷製本費			9,130	9,130	0	9,130
消耗品費			0	0	1,728	1,728
備品費			0	0	0	0
水道光熱費			0	0	0	0
地代家賃			0	0	0	0
保険料			0	0	0	0
会議費			5,700	5,700		5,700
諸謝金			21,032	21,032		21,032
その他経費計			35,862	35,862	44,320	80,182
経常費用計	0	0	35,862	35,862	44,320	80,182
当期経常増減額	0	0	-35,862	-35,862	5,250,680	5,214,818

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は5,214,818円ですが、そのうち1,300,000円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は3,914,818円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	備考
麒麟福祉財団	0	300,000	0	R5年3月15日交付決定通知 R5年4月19日入金 未収金として貸借対照表に資産計上しています。
日本財団	0	1,000,000	0	R5年2月24日交付決定通知 R5年4月20日入金 未収金として貸借対照表に資産計上しています。
合計	0	1,300,000	0	

令和4年度財産目録
令和5年3月31日現在

法人名（NPO法人テクたまご）

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金（現金手許有高）	49,496		
普通預金（GMOあおぞらネット銀行法人営業部）	270,322		
普通預金（GMOあおぞらネット銀行法人営業部）	460,000		
普通預金（GMOあおぞらネット銀行法人営業部）	135,000	914,818	
未収金			
R4年度会費1名分	5,000		
麒麟福祉財団	300,000		
日本財団	1,000,000		
SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞	3,000,000	4,305,000	
流動資産合計		5,219,818	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,219,818
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金（R5年度会費1名分）	5,000		
流動負債合計		5,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,000
正味財産			5,214,818

（備考）

- 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 「その他の事業」を実施している場合でも、財産目録の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。